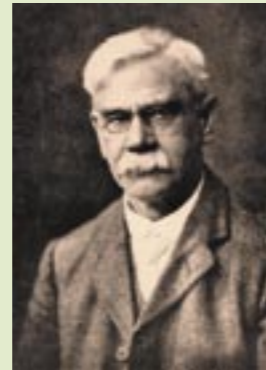




17 帝国学士院長など学会の最高権威であるとともに、文部大臣を務めるなど政治方面でも活躍します。



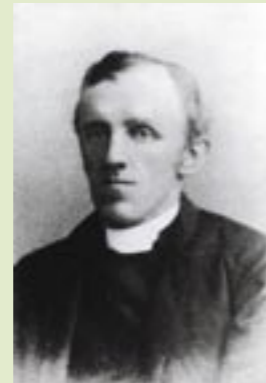
当時の経歴は、帝国大学理科大学長です。



20 地震や火山の研究をした学者です。



当時の経歴は、帝国大学理科大学教授です。



21 明治16年に来日した宣教師で、日本聖公会の設立に尽力し、東京女学館に英人教師を手配します。



当時の経歴は、日本聖公会宣教師、第2代日本主教、香蘭女学校設立者です。



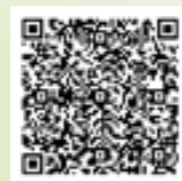
22 明治6年に来日した宣教師で、避暑地としての軽井沢を発見し、「軽井沢の父」と称されます。



当時の経歴は、日本聖公会宣教師です。



23 夏目漱石の英語の先生です。

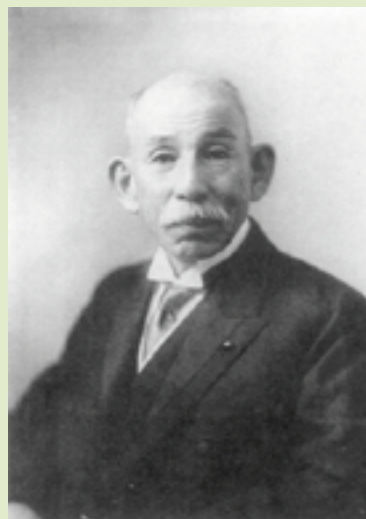


当時の経歴は、帝国大学文科大学教授・英文科主任です。

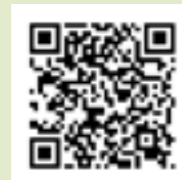
18 植物学の学者です。女子高等教育や国語のローマ字化にも取り組んでいます。



当時の経歴は、帝国大学理科大学教授兼教頭、東京盲啞学校長、東京高等女学校長です。



19 法学の権威で、民法などの重要な法律を起草します。妻は渋沢栄一の長女です。



当時の経歴は、帝国大学法科大学教授、法学博士、貴族院議員です。

# 東京女学館史料編纂室報

Tokyo Jogakkan Archives Newsletter Vol.11

2017年3月発行 東京女学館 史料編纂室  
〒150-0012 東京都渋谷区広尾3-7-16  
TEL 03-3400-0861 FAX 03-3407-5995

第11号



## ●●●東京女学館の設立に係わった人々 —女子教育奨励会の22人+1人—

東京女学館は、明治21（1988）年9月11日に、女子教育奨励会が設立した学校です。今回は特集として、女子教育奨励会の関係者をとりあげます。

明治20年1月12日、内閣総理大臣・伊藤博文の官邸で女子教育奨励会の発起人会が開かれました。そして、各界の実力者から発起人22人を選び、皇族を会長とし、東京女学館を設立することを決めました。

まずは、人物の名前を調べましょう。答えは、次の頁の下部に書いてあります。次に、人物のエピソードを調べましょう。タブレットやスマートフォンでQRコードを読み込むと、人物の詳しい解説を見ることができます。

最後に、あなたが見つけた印象的なエピソードを交えながら、この人物は誰か、どんな人物か、なぜ女子教育奨励会に参加したと思うのか、説明しましょう。

(注) QRコードは「コトバンク」の解説にリンクします。⑦のみ、Wikipediaの解説にリンクします。



1 大日本帝国憲法をまとめ、近代日本の政治のあり方を決定づけた人です。女子教育奨励会の創立委員長です。



当時の経歴は、初代内閣総理大臣、宮内大臣です。



3 500社以上の企業の設立に係わり、「日本資本主義の父」と称された大実業家です。本校の第5代館長です。



当時の経歴は、日本煉瓦製造会社創立・発起人、帝国ホテル創立・発起人総代です。

2 近衛師団長として台湾に出征した皇族です。女子教育奨励会の会長です。



当時の経歴は、歩兵第一旅団長、大勲位です。



4 現在でも有数の大企業・三菱を育て上げた実業家です。のちに日本銀行総裁も務めます。



当時の経歴は、三菱財閥第2代総帥です。

### 前頁の解答

- 11 原六郎
- 12 高峰秀夫
- 13 桜井錠二
- 14 大鳥圭介
- 15 伊沢修二
- 16 渡辺洪基

### 最終頁の解答

- 17 菊池大麓
- 18 矢田部良吉
- 19 穂積陳重
- 20 カーギル・ノット
- 21 エドワード・ピカステス
- 22 アレクサンダー・ショウ
- 23 ジェームズ・ディクソン



**5** 社会学の学者で、東京帝国大学総長や文部大臣としても活躍します。本校の教務監督(のちの館長に相当)です。



当時の経歴は、帝国大学文科大学教授です。

**8** 宮内省で働く宮内官僚です。有栖川宮威仁親王とともに、皇太子(大正天皇)の教育にあたります。



当時の経歴は、宮内大臣秘書官 兼補 外事課次長(兼 式部官)です。



**11** 横浜正金銀行の頭取として、日本銀行との両輪で日本の財政・金融を牽引する金融体制を築き上げます。実業家としても数多くの企業を立ち上げます。

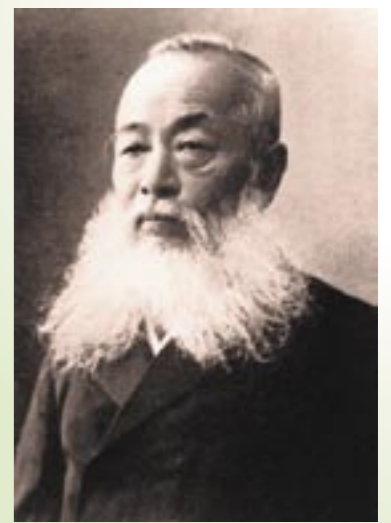


当時の経歴は、横浜正金銀行頭取です。

**14** 幕末は陸軍奉行でしたが、技術官僚として国内産業を育成し、朝鮮駐劄公使として日清戦争前の困難な外交交渉にあたるなど、多方面で活躍します。



当時の経歴は、学習院院長兼華族女学校校長です。



**6** 日本銀行総裁や東京府知事などを務めたほか、実業家としても活躍します。



当時の経歴は、日本銀行副総裁、日本銀行総裁です。



**9** 英語教育の第一人者で、東京外国語学校の校長などを務めます。本校の第4代館長です。



当時の経歴は、帝国大学文科大学教授です。

**12** 生徒の自主性を重視した教授法を全国に広めた功績から、「師範学校の父」と称されます。



当時の経歴は、東京師範学校長、高等師範学校教諭兼教頭です。



**15** 音楽教育の第一人者です。留学中に、日本人として初めて電話を使った人でもあります。



当時の経歴は、東京音楽学校長、文部省編輯局長です。



**7** 宮内省で働く宮内官僚です。日本赤十字社理事など、社会事業にも貢献します。



注) Wikipediaにリンクします。

当時の経歴は、式部官、宮内大臣秘書官です。

**10** 政治家として内務大臣を務めただけでなく、源氏物語の英訳など文化面でも顕著な業績があります。伊藤博文の娘婿です。



当時の経歴は、演劇改良会の主唱者、内務省県治局長です。



**13** 理化学研究所や日本学術振興会を設立し、「近代化学の父」と称されます。本校の第6代館長です。



当時の経歴は、帝国大学理科大学教授です。

**16** 東京府知事や駐オーストリア特命全権公使など、行政官と外交官を務めます。また、帝国大学などの様々な学校長となります。



当時の経歴は、帝国大学初代総長です。



前頁の解答

- ① 伊藤博文
- ② 北白川宮能久親王
- ③ 渋沢栄一
- ④ 岩崎弥之助

前頁の解答

- ⑤ 外山正一
- ⑥ 富田鉄之助
- ⑦ 長崎省吾
- ⑧ 斎藤桃太郎
- ⑨ 神田乃武
- ⑩ 末松謙澄